

maxell

Bluetooth
ワイヤレスヘッドホン

MXH-BTW1000

保証書付

取扱説明書

このたびはマクセル製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよく読み、製品を安全にお使いください。
また、本書は保証書も兼ねていますので、大切に保管してください。

User manual

For the English version of the user manual, please refer to the following URL: http://www.maxell.jp/consumer/assets/pdf/mxh-btw1000_manual_en.pdf



产品使用说明

中文版使用说明书请参考以下 URL：

http://www.maxell.jp/consumer/assets/pdf/mxh-btw1000_manual_cn.pdf

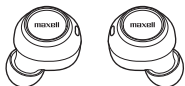


梱包品の確認

本体 (L 1個、R 1個)

イヤークピース(XS/S/M/L 各2個)

* Mは本体に装着



充電ケース

充電用ケーブル
(USB-A-Micro-B 約45cm)1本



保証書付き
取扱説明書
(本書)

クイック
スタート
ガイド

1 はじめに

取扱説明書をお読みになるにあたって

- この取扱説明書については、将来予告なく変更することがあります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。

免責事項 (保証内容については保証書面をご参照ください)

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証、黙示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されていません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品は日本国内仕様です。日本国外での使用に関し、弊社は一切責任を負いません。

2 安全上のご注意

安全にご使用いただくために必ずお守りください。

	危険	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危害の程度
	警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定される危害の程度
	注意	取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定される危害・損害の程度

- ※1： 重傷とは、失明、けが、やけど(高温・低温・化学)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※2： 軽傷とは、治療入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などを指します。
- ※3： 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大被害を指します。

絵表示の例		△ 記号は製品の取り扱いにおいて、発火、破裂、高温などに対する注意を喚起するものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。
		⊘ 記号は製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
		● 記号は製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。具体的な強制内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

危険

電源はUSBポート以外からとらない	
充電するときはパソコンなどのUSBポートまたはUSB変換ACアダプターを使用してください。USBの定格を超えた電源を使用すると、発熱、発火、故障、感電、ケガの原因となります。	
もれた液にさわらない	
本製品内部からもれた液体はさわらないでください。また目に入ったときは、こすらずきれいな水で洗った後、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となります。	

警告

「自動車」「自転車」「バイク」など運転中は使用しない	
周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因となります。	
周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない	
歩行中でも、周囲の音が聞こえないと危険な場所(踏み切りや横断歩道、駅のホーム、車道、工事現場など)での使用は、思わぬ大きな事故の原因となります。	
ワイヤレス機器の使用が禁止されている場所で使用しない	
電波が心臓ペースメーカーや医療用機器に影響を与える場合があります。病院内や鉄道の優先席などワイヤレス機器の使用が禁止されている場所では使用しないでください。	
乳幼児の手の届く所へ置かない	
誤って本体を飲み込むことがあります。万一事故が発生した場合は、ただちに医師の診察を受けてください。	
直射日光があたる場所や、異常に温度が高くなるところへ置かない	
機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因となります。夏の閉めきった自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。	
火の中に入れない	
火中に投下したり、加熱したりしないでください。発熱、発火、破裂、液漏れの原因となります。	
水の中に入れない	
水中で使用しないでください。火災、感電の原因となります。	
修理や改造、または分解しない	
火災、感電、またはけがの原因となります。	

異常時は電源を切る	
煙が出た場合、変なにおいや音がかかる場合、水や異物が内部に入った場合、本製品を落下させた場合は、すぐに電源スイッチを切ってください。また、USBより充電中はUSBプラグを抜いてください。そのまま使用すると発熱、発火、故障、感電などの原因となります。	
所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は充電を中止する	
液漏れ、発熱、発火、破裂の原因となります。	

注意

音量を上げすぎない	
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。また、はじめから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳を痛めることがあります。使用する前には、接続する機器の音量を絞っておいてください。	
肌に合わないと感じた時は使用を中止する	
継続使用すると、炎症、かぶれの原因となる場合があります。異常を感じた場合は、使用を中止し医師の診断を受けてください。	
ヘッドホンを無理に耳に押し込まない	
耳の穴をきずつけることがあります。	
5～40℃の範囲内で充電および使用する	
この範囲外の温度での充電および使用は、液漏れ、発熱、破裂、故障の原因となります。	
USBプラグにホコリがつかないようにする	
定期的にゴミやホコリを取り除いてください。発熱、発火の原因となります。	

ワイヤレス使用上のご注意

本機は2.4GHzの周波数帯を使用しています。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用場所を変更するか、または電波の発射を停止してください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社「お客様ご相談センター」までお問い合わせください。
4. 本機は電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けています。したがって、本機の使用について無線局の免許は必要ありません。ただし製品の分解や改造、認証表示を消すことは禁止されています。
5. 病院内や鉄道車内の優先席など携帯電話やワイヤレス機器の使用が禁止されている場所では使用しないでください。



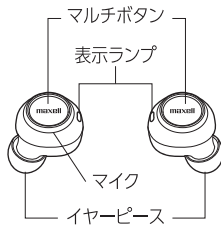
この無線機器は2.4GHz帯を使用します。
変調方式としてFHSS変調方式を採用し、
干渉距離は10mです。



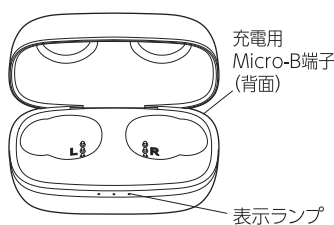
R 018-190059
T D19-0008018

3 各部の名称と機能

本体



充電ケース



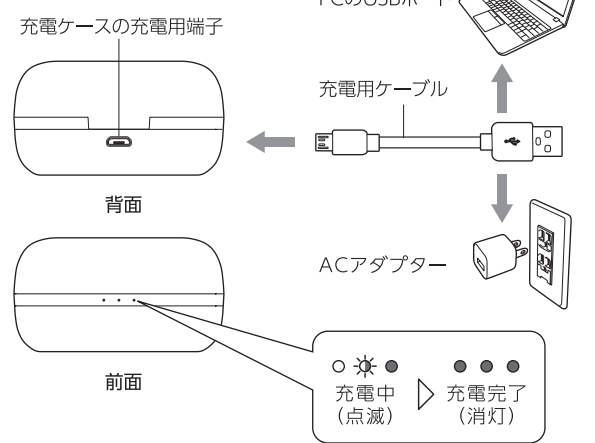
4 準備する

本製品は本体と充電ケースにリチウムイオン電池を内蔵しています。
購入後は充電してからご使用ください。

<充電ケースを充電する>

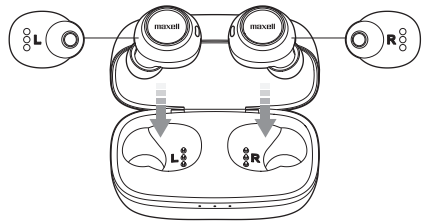
1. 付属の充電用ケーブルを充電ケースとお持ちのPCまたはUSB端子付ACアダプターのUSBポートに接続します。
2. 充電ケースの表示ランプが点滅し充電を開始します。
3. 表示ランプが消えれば充電完了です。(充電時間：約3.5時間)
4. 充電用ケーブルを取り外します。

接続図



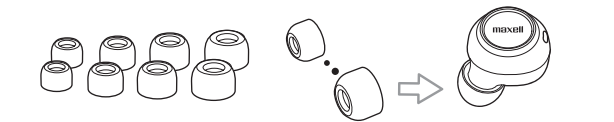
<本体を充電する>

1. 本体を充電ケースにセットします。本体と充電ケースのLR表示を合わせてセットしてください。
2. 本体の表示ランプが赤色となり充電を開始します。充電ケースの表示ランプは電池残量の目安を表示します。
3. 本体の表示ランプが消えれば充電完了です。(充電時間：約2時間)



- ※付属の充電用ケーブル以外は使用しないでください。
- ※充電用ケーブルは端子の向きをよく確認してから差し込んでください。間違えると端子が破損するおそれがあります。
- ※USBポートは、USB規格に基づいた電源DC5Vをご使用ください。
- ※長期間使用しない場合でも、6か月に1度は充電をおこなってください。自己放電により完全放電し、充電できなくなる場合があります。
- ※リチウムイオン電池は消耗品です。使用とともに使用時間は短くなります。極端に使用時間が短くなった場合は、電池の寿命です。
- ※充電中は操作できません。
- ※本体の電池残量が少なくなると、「バッテリーロー」という案内音が流れます。

<イヤークーピースを選ぶ>



お買い上げ時には、Mサイズのイヤークーピースが装着されています。Mサイズが耳に合わない場合は、付属のXSサイズ、Sサイズ、またはLサイズに交換してください。イヤークーピースが合っていないと耳の穴を隙間なく密閉することができず、音漏れや低音が聴こえない原因となります。また音量が小さいと感じた場合は音漏れの可能性があります。

5 使いかた

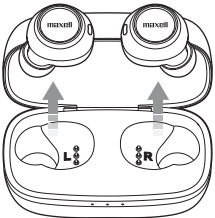
<ペアリングして接続する>

本製品を使用するためには、お使いのBluetooth機器とペアリングをする必要があります。一度ペアリングをおこなうと次回からはペアリングをせず

に接続することができます。

1. 充電ケースから本体を取り出すと本体の電源が自動で入り、表示ランプが点滅をはじめます。
2. しばらくすると、本体 (L) の表示ランプが赤色と青色交互に点滅をはじめます。*1 本体 (R) は青色でゆっくり点滅します。
3. お使いのBluetooth機器のBluetoothを有効にします。
※設定については、機器の取扱説明書をご確認ください。
4. お使いのBluetooth機器に表示されるリストから“MXH-BTW1000”を選択します。
5. ペアリングが完了すると表示ランプが青色にゆっくり点滅します。

*1: 購入後はじめてペアリングをおこなう場合は、電源が入ったのち、すぐにペアリングモードとなります。2台目以降のペアリングをおこなう場合は、電源が入ったのち、約30秒後にペアリングモードとなります。



<2回目以降の接続>

1. 充電ケースから本体を取り出すと本体の電源が自動で入り、表示ランプが点滅をはじめます。
2. お使いのBluetooth機器のBluetoothを有効にします。
3. 自動的に接続します。*2 接続が完了すると、表示ランプが青色にゆっくり点滅します。

*2: 自動的に接続しない場合は、お使いのBluetooth機器で表示されるリストから“MXH-BTW1000”を選択してください。

ご注意

- ペアリングモードは約1分で終了し、その間にペアリングされないとスタンバイモードになります。
- お使いのBluetooth機器によりパスワード*3の入力を要求される場合があります。その場合“0000”を入力するとペアリングすることができます。
- 本製品はペアリングをおこなったBluetooth機器を8台まで記憶できます。9台以上ペアリングをおこなうと、最初に記憶されたBluetooth機器の情報が消去され、新たにペアリングをおこなった機器が記憶されます。機器の情報が消去されたBluetooth機器を使う場合は、再度ペアリングをおこなってください。

*3: パスワードは、パスコード、パスキー、PINコードなどと呼ばれる場合があります。

<各機能の操作方法と動作>

■共通機能

機能	操作	表示ランプ	案内音
電源ON	充電ケースから本体を取り出します または、電源OFFの状態で、本体LとRのマルチボタンを約6秒長押しします	本体L: 青色で点滅 本体R: 青色でゆっくり点滅	パワーオン レフトチャンネル ライトチャンネル
電源OFF	充電ケースに本体をセットします または、本体LまたはRのマルチボタンを約3秒長押しします	本体LR:赤色に点灯 本体LR: 消灯	パワーオフ

ペアリングモード	充電ケースから本体を取り出します または、電源OFFの状態で本体Lのマルチボタンを約6秒長押しします	本体L: 青色点滅 → 赤色、青色が交互に点滅 本体R: 青色でゆっくり点滅	パワーオン レフトチャンネル ライトチャンネル ペアリングモード
ペアリング完了	お使いのBluetooth機器から本製品をペアリングします<ペアリングして接続する>をご覧ください	本体LR: 青色でゆっくり点滅	コネクテッド
接続	ペアリングが完了しているお使いのBluetooth機器のBluetoothが有効になっていると自動的に接続します*4	本体LR: 青色でゆっくり点滅	コネクテッド
接続解除	お使いの機器から本製品の接続を解除します(またはBluetoothを無効にします)	本体L: 青色で点滅 本体R: 青色でゆっくり点滅	ディスプレイ コネクテッド

*4: 自動的に接続しない場合は、お使いのBluetooth機器で表示されるリストから“MXH-BTW1000”を選択してください。

ご注意

Bluetooth接続していない状態で約2分経過すると自動的に電源がOFFになります。

■音楽再生

機能	操作
PLAY/PAUSE	本体LまたはRのマルチボタンを押して、再生と一時停止を切り替えます
音量UP/DOWN	本製品では操作できません。 接続する機器側で操作してください
曲送り (次の曲に進みます)	本体LまたはRのマルチボタンを2回連続押しします
曲戻し (再生中の曲の先頭に戻ります*5)	本体LまたはRのマルチボタンを3回連続押しします

*5: 曲の先頭近くで操作すると前の曲に戻ります。

ご注意

お使いのBluetooth機器によっては操作が異なったり使用できなかったりする場合があります。

■ハンズフリー通話

機能	操作
受話	着信時に、本体LまたはRのマルチボタンを押します
終話	通話中に、本体LまたはRのマルチボタンを押します 通話相手が通話を切ります

ご注意

お使いのBluetooth機器によっては操作が異なったり使用できなかったりする場合があります。

6 困ったときは

電源が入らない	・ 本体を充電ケースに入れ、取り出してください ・ 本体のマルチボタンを約3秒長押ししてください ・ 充電してください
音が出ない	・ 接続機器とのペアリング、接続をおこなってください ・ 電源が入っていない。マルチボタンを約3秒長押ししてください ・ 接続機器がBluetoothのプロファイルA2DPIに対応しているか確認してください ・ 接続機器が再生しているか確認してください ・ 接続機器の音量をゆっくり上げてください
音がひずむ、とぎれる	・ 接続機器の音量を下げてください ・ 接続機器のバスプーストなどの機能をOFFにしてください ・ 接続機器と本製品の間の障害物を取り除いてください ・ 接続機器と本製品を近づけてください ・ 無線機や電子レンジなどを離してください
電話の音声が届かない	・ マルチボタンを押して受話してください ・ 接続機器がBluetoothのプロファイルHFPまたはHSPに対応しているか確認してください
充電できない	・ 充電用ケーブルを充電用端子の根元まで差し込んでください ・ 充電ケースから本体を取り出し、入れ直してください ・ 本体と充電ケース接点の汚れを取り除いてください ・ 充電温度範囲内(5℃～40℃)で充電してください

症状が改善されない場合は、本体をリセットしてください。本体をリセットすると、ペアリングした機器情報もすべて消去され購入時の状態となります。再度ペアリングをおこなってください。

1. 本体LまたはRのマルチボタンを約3秒長押しして電源をOFFにします。
2. 本体LとRのマルチボタンを約15秒間押し続け、表示ランプが紫色に2回点滅したら、指を離します。
3. 本体LとRを充電ケースにセットします。
4. **5** 使いかた <ペアリングして接続する>の手順でペアリングしてください。

7 仕様

一般仕様	型式	密閉ダイナミック型
	ドライバーユニット	直径 6mm
	再生周波数帯域	20 ～ 20,000Hz
	電源	内蔵充電式リチウムイオン電池
	使用時間	本体 連続再生:約5.5時間、連続待受:約100時間
		充電ケース 本体を約3回充電*1
	充電時間	本体 約2時間 充電ケース 約3.5時間
ワイヤレス仕様	質量	本体 約5g×2、充電ケース 約45g
	同梱品	イヤークーピース(XS/S/M/L 各2個)*Mは本体に装着 充電用ケーブル(USB-A-Micro-B 約45cm)1本 取扱説明書(保証書付)、クイックスタートガイド
	通信方式	Bluetooth® Version 5.0
	通信距離	最大10m
	プロファイル	A2DP、AVRCP、HFP、HSP
	コーデック	SBC、AAC
	コンテンツ保護	SCMS-T
	マルチペアリング	最大8台

*1: 本体と充電ケースをフル充電した場合、再生時間は本体1回分と充電ケースからの充電3回分、計4回最大22時間となります。
※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
※本製品はリチウムイオン電池を内蔵しています。使用時間およびバッテリー充電時間は当社試験結果に基づく目安です。ご使用環境により異なります。

Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、Maxell Asia, Ltd.はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。記載されている名称、ロゴ、サービスマークは、マクセルまたは他社の登録商標もしくは商標です。

8 本製品を廃棄する



Li-ion 00

注意 日本国内での充電式電池の廃棄について

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身ではおこなわず、当社「お客様ご相談センター」にご相談ください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人 JBRCホームページを参照してください。

9 保証とアフターサービス

■保証書に関して

保証書は必ずお買い上げ時のレシートとともに大切に保管してください。

■本製品に関するお問い合わせ先

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

マクセル株式会社
〒151-8527
東京都渋谷区元代々木町30-13
<http://www.maxell.co.jp>

お客様ご相談センター
TEL.(0570)783-137(ナビダイヤル)
FAX.(0570)025-710(ナビダイヤル)